

お花見

今から1,000~2,000年も昔の農民は、お米を作る田んぼに「田の神様」がいると考えていました。田の神様は、寒い冬の間は山へ行き、あたたかい春になると、農民たちが住んでいる村へ帰ってくると信じられていました。そして、春になって桜が咲くと、農民たちは「田の神様が帰ってきた」と考え、桜の木の周りに集まり、田の神様にお持て成しをした事が、お花見の始まりと言われていました。



今月は、前月号でご報告しておりましたお花見を行いました。場所は、当院の横にあります沢ノ町公園です。長く続いた雨のせいで少し散ってしまいましたが、まだまだ綺麗な桜を患者様に堪能して頂くことが出来ました。



美しい桜の花を眺め、芳醇な香りを嗅ぎ、春の訪れを肌で感じる。お花見は視覚、嗅覚、触覚、聴覚を刺激し、脳を活性化させます。脳の血流が促進されることで、記憶力や集中力、思考力などの向上にもつながります。



今回掲載している写真以外にも、各病棟の掲示板に掲示しておりますので、ご来院の際にはぜひご覧いただければ幸いです。